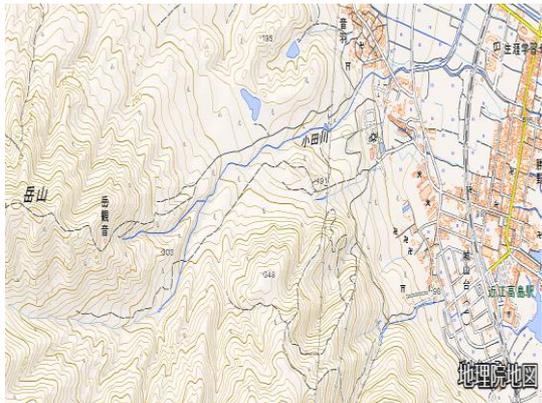


7月15日 リトル比良

伊藤典子

山名	リトル比良	山行名	例会			
ルート	JR 近江高島駅～大炊神社(登山口)～賽の河原～白坂～岳山 ピストン					
山行日	2018年7月15日(日)	天候	快晴(猛暑)			
参加者	リーダー： 伊藤典子 サブリーダー： 上杉郁子 男性： 中田、木元、若林、藤村、竹原(順)、山下(剛)、平尾 女性： 吉澤、河野、上田、大林、竹原(絹)、玉井 合計： 15名					
ルート概略図	コースタイム					
	地名		時：分	地名		時：分
	JR 京都駅	集	7:20	岳山・石造観音三尊(昼)	着	11:40
		発	7:24		発	12:00
	JR 近江高島駅	着	8:20	賽の河原	着	13:30
		発	8:25		発	13:35
	大炊神社	着	8:50	大炊神社	着	13:55
		発	9:00		発	14:05
	賽の河原	着	9:25	JR 近江高島駅	着	14:20
		発	9:35		発	14:38
	白坂近辺	着	10:00	JR 京都駅	着	15:33
		発	10:10		発	
	山行報告					
<p>過酷な山行であった。気温 38 度を超える猛暑日、しかもカンカン照りの中登山を行うとは無謀であった。歩き始めて 1 時間ほどで数名が軽い熱中症に罹る寸前までに体調を崩したり、数名が大事を取って予防策のため途中待機を希望することになったり、とても計画通り縦走を続けることが困難だと思われた。せっかく来たのに、見どころの一つもクリアできずに引き返すのは心残りであるという意見もあり、快晴により抜群に良い景色が期待できたので、せめてオウム岩までは行きたいと思ったが、すでに予定時間をかなりオーバーしていたため、昼食時間も込みで 12 時をめぐりに行けるところまで行くことにした。白坂近辺で 4 人が待機し、途中「弁慶の切石」手前でさらに 3 人が待機し、残り 8 人で岳山・石造観音三尊まで登りここで昼食にした。もう少し余力のあった数名もいたが、私が限界を感じた。あまりの暑さのため冷たいゼリー一食しかのどを通らなかった。木漏れ日の中ほんの少し暑さが和らぎ十分に休憩を取ったこともあり、また引き返しは下りばかりだったので足取りは軽かった。途中待機組と順に合流し、最終的には全員が元気に下山できて本当に良かったと思う。</p> <p>参加の皆様、大変お疲れ様でした。残念ながらリトル比良縦走はかないませんでした。時期を改めてリベンジできればと思います。ご参加ありがとうございました。</p>						
ヒヤリハット						
道間違い、体調不良者あり						

<感想文>

夏山登山の第三回のトレーニング（リトル比良縦走）

若林憲治

二回目の白坂アイゼントレーニングが雨で中止になり、三回目のリトル比良はトレーニングの必要性を感じ、この三連休事前の天気予報雨マークは無く晴天との報道に、雨のキャンセルは無いが暑さ対策は万全を期する必要があるも雨よりはまだ良しとの事で、暑さ対策は万全にと心して参加の意思を伝えた。

7時20分京都駅に15名集合24分発の湖西線乗車 近江高島到着 駅より登山口の神社迄歩き始めると皆流れる様な汗に先の山行思いやられるも、白坂近くで、あまりの暑さにこの段階で縦走は止めるリーダー判断が出た。それから間もなく一名睡眠不足が原因と思われる熱中症の症状が現れ（吐き気）、一名 二日酔いに寄る体のだるさ、スタート時からこの暑さは無理したら駄目と途中リタイヤする事も考えておられた二名、計四名は待機する事にした。残り11名は無理をしない範囲で岳山近くまで登山も矢張り暑さは過酷であった。風もなく湿度は高く猛暑であり途中から引き返しの懸命な判断で有った。待機組(4名)と折り返し組(11名) 別れた場所にて合流して全員で下山。

帰宅してニュースで知ったが滋賀県の気温は38.5度との事であった。京都は全国一高い気温。山行 雨の中止も有るので猛暑の中止も有って良いのかな? 考えさせられる登山であった。猛暑の中での山行ご参加の皆さんお疲れ様でした。

山下剛史

当日は雲ひとつ無い晴天に恵まれ過ぎました。天気予報で今年一番の暑さになる中での山行は、家族の方から何でこんな暑い日に山に登ると言われたことでしょうか。本当に暑かった。皆んな無事下山できて良かった。感想はこの一言につきます。



山行はゆっくりとしたペースで、20分ごとに休憩がありましたが、滝のように汗が流れ、休憩の時に凍らせたペットボトルで首すじを冷やしながらの山行でした。トレーニングを通り越し、暑さとの闘いでした。

暑さの為、縦走出来ず、道半ばにもならない距離で引き返すことになり、残念でした。必ずリベンジしましょう!!

